

(日弁連法務研究財団)

法科大学院 年次報告書
(抜粋)

2010年10月31日

明治学院大学法科大学院

1 学生数及び教員に関するデータ

◇入学者

単位：人

	入学定員	入学者数	法学既修者	法学系の学部・ 学科以外の学部・ 学科出身者	実務等経験者
2008年度入学者	80	66	1	10	20
2009年度入学者	80	57	1	8	21
2010年度入学者	60	48	1	6	14

法学系の学部・学科以外の学部・学科出身者かつ実務等経験者は、実務等経験者にカウントする。

◇学生・修了者数の推移

別紙（別ファイル）の表に記載。

◇教員数（専任教員・みなし専任教員）

入学定員が100人以下の法科大学院

必要教員数は、各分野につき1人

	憲 法	行 政 法	民 法	商 法	民事訴訟法	刑 法	刑事訴訟法
必要 教員数	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名
実員数	2名	1名	3名	2名	2名	1名	2名

2 主要な変更点

1 カリキュラム変更

法律実務基礎科目を充実した。

1年次科目として「模擬裁判」（1単位）を、2年次科目として「法律文書作成2」（1単位）を必修科目化した（後者の開講年度は2011年度）。また、エクスターンシップを2単位科目とした。このほか、法律実務基礎科目の開講時期を前倒しして、2年次科目とした。

これにより、実務基礎科目の早期の履修を可能とし、また、修了に必要な法律実務基礎科目の履修単位数が10単位以上（必修科目8単位、選択必修科目2単位以上）となった。

2 出欠管理システムの導入

2009年度より、法科大学院の全教室に出欠管理システムを導入し、学生証（ICカード）による出欠の確認を確実、容易にした。

これにより、授業時間のより有効な活用、成績評価に際しても出欠について電子データによる管理が可能になり、出席をめぐるトラブルが減少した。

3 入学者支援奨学金制度の創設（2010年度）

文科省の指摘を受け、適性試験上位の者が受験しやすい環境をつくるため、2010年度に実施される2011年度入試より、合格者のうち適性試験の成績上位者について、最大40名まで初年度授業料の100万円を超える部分を法科大学院入学者支援奨学金として支給することとした。

年次報告書 <別紙>

◇学生・修了者数の推移

単位：人

		入学者数	2007年度 退学者数	2007年度 留年者数	2007年度 修了者数	2008年度 退学者数	2008年度 留年者数	2008年度 修了者数	2009年度 退学者数	2009年度 留年者数	2009年度 修了者数	休学者数	在籍者数
2006年度 入学者	未修	75	2	0	—	2	33	29 38.7%	2	10	23	1	10
	既修	13	0	2	11 84.6%	0	0	2	0	0	0	0	0
2007年度 入学者	未修	69	3	0	—	5	0	—	2	18(1)	41 59.4%	1	18
	既修	3	0	0	—	0	0	3 100.0%	0	0	0	0	0
2008年度 入学者	未修	65	—	—	—	10	0	—	4	0	—	0	50
	既修	1	—	—	—	0	0	—	0	0	1 100.0%	0	0
2009年度 入学者	未修	56	—	—	—	—	—	—	2	0	—	1	53
	既修	1	—	—	—	—	—	—	0	0	—	0	1
2010年度 入学者	未修	47	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	47
	既修	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	1

*表下段の率：標準修業年限修了者/入学者

[注] 留年者数は、進級制限がある場合において、各年度に進級できなかった者の人数をいう。休学や留学によって進級の遅れた者については、()に内数で記入する(留年者10名のうち、休学や留学によって留年した者が2名いるときは、「留年者数」欄に「10(2)」と記入する)。4月1日時点で休学中の者は「休学者数」に記入する。